

press release



白磁 花瓶(白土) 瀬戸物産



黒土 鉢(黒土) 瀬戸物産



青磁 皿(青土) 瀬戸物産

瀬戸物産
伝統工芸品の
日本工芸品の精華



伝統的で、現代的。

人間国宝から新進気鋭の若手まで

第64回

日本 伝統工芸展

THE 64TH JAPAN TRADITIONAL KŌGEI -ART CRAFTS- EXHIBITION

陶芸 / 染織 / 漆芸 / 金工 / 木竹工 / 人形 / 諸工芸

会期 平成30(2018)年
2月23日(金)～3月11日(日)
会期中無休

1月5日(金)から
前売券発売中!

開館時間 9:00～17:00
※金曜日は19:00まで、入場は
閉館の30分前まで
※2月23日(金)は10:00開場

料金 一般 700円 (500円)
高・大学生 400円 (200円)
※中学生以下無料



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)

 広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

【開催趣旨】

日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を、発展継承させることを目的に、昭和29年に創設されました。以来、その伝統をよく理解しながら一層技術を磨いて、今日の生活に即した新しいものを築き上げることを目標としています。第64回となる本展の広島展では、人間国宝(重要無形文化財保持者)から新進気鋭の若手まで、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門で、日本を代表する作家の作品311点を展示します。なお、広島県からは9名の作家の作品が入選しています。

【展覧会の構成】

本展は陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門から構成されます。

I 陶芸

土器、炆器、陶器、磁器というようにやきものは、原料とその性質から分類されます。さまざまな釉薬や上絵具による絵付け、窯の中で偶然的に発生する窯変などバラエティに富んだ作品が一堂に並びます。

II 染織

染織は文字通り、染めることと織ることをいいます。木綿や絹、芭蕉や和紙などを素材として用いた、染めと織り、刺繍などによる色とりどりのきものが見る人を魅了します。

III 漆芸

漆芸は、東アジアや東南アジアで発達した東洋独特の工芸で、各地域で特色のある漆芸品が作られてきました。漆の素材としての魅力を活かした髹漆(きゅうしつ)、金粉を使った華やかな蒔絵など多彩な作品を展示します。



和田的 白器「ダイノ台」
東京都知事賞



山下郁子 半紗織着物「春の川」
高松宮記念賞



奥井美奈 乾漆箱「流れる」
日本工芸会総裁賞

press release

IV 金工

金工は文字通り、金属による工芸をいいます。素材は、金、銀、銅、鉄、異なる金属を合わせた合金など。叩いて成形する鍛金、熱く溶かした金属を鋳型に流し込んで成形する鋳金、彫ったり鍍金したりして加飾する彫金など様々な技法による作品を紹介します。

V 木竹工

木竹工は、木工と竹工をいいます。木工の技法は大きく分けてロクロを使った挽物(ひきもの)、削って形を作る割物(くりもの)、薄い板を曲げて成形する曲物(まげもの)、板状の木を複雑に組み合わせた指物(さしもの)などがあります。ケヤキや黒柿、松や黒檀など木の性質を活かして作品制作が行われます。竹工は、真竹や孟宗竹などをそのままあるいは細く割ってヒゴとし、編んで作品とします。

VI 人形

伝統的な人形制作は木彫や桐塑、張子や陶磁製の陶胎があります。作品の背景にあるだろう物語や伝説はもちろん、衣装の布選びや小物まで、作者は工夫をこらしています。

VII 諸工芸

諸工芸には、ガラスや七宝、玉や象牙、截金や硯などが含まれます。ガラスの成形法には、型を使う方法と使わない方法があり、切りや腐蝕などで加飾します。七宝は銀や銅などの素地にガラス質の釉薬を焼き付けるもので、有線七宝、無線七宝、省胎七宝などがあります。メノウや水晶をくりぬいた玉、染めたり彫ったりした象牙(現在はマンモスの牙が多い)、線状に切った金箔などを貼ることで文様を表した截金、山口県や山梨県などが特産の硯といった多彩な作品をご覧ください。

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。



角谷 勇圭 芦辺焼口釜
日本工芸会保持者賞



高月 國光 樺造鉢
NHK会長賞



小嶋 香代子 桐塑紙貼「家路」
日本工芸会奨励賞



安達 征良 硝子縹糸紋平鉢「一粟」
文部科学大臣賞

press release

【関連イベント】

伝統工芸に親しみ、楽しく学んでいただくための体験イベントやワークショップを多数用意しております。
特に、一日工芸体験イベントは今年度初の試みです。

一日工芸体験イベント

作品を鑑賞するだけでなく、作家のお話を聴いたり、制作の姿を間近で見たり、さらには作家の作品を用いた茶話会に参加したり...作家と触れ合う工芸尽くしの贅沢な1日をご体験いただけます。

■木工Day

講師：高月國光(日本工芸会正会員／木工)

2月25日(日)11:00～ ギャラリートーク [3階企画展示室]

13:00～ 茶話会(焙じ茶) [縮景園茶室]

15:00～ 実演 [3階ロビー]

■七宝Day

講師：粟根仁志(日本工芸会正会員／七宝)

3月4日(日)11:00～ ギャラリートーク [3階企画展示室]

13:00～ 茶話会(珈琲) [縮景園茶室]

15:00～ 実演 [3階ロビー]

■陶芸Day

講師：今田拓志(日本工芸会正会員／陶芸)

3月10日(土)11:00～ ギャラリートーク [3階企画展示室]

13:00～ 茶話会(珈琲) [縮景園茶室]

15:00～ 実演 [3階ロビー]

■漆芸Day

講師：金城一国斎(日本工芸会正会員／漆芸)

3月11日(日)11:00～ ギャラリートーク [3階企画展示室]

13:00～ 茶話会(抹茶) [縮景園茶室]

15:00～ 実演 [3階ロビー]

※会場：ギャラリートークは3階企画展示室(要入館券)、茶話会は縮景園茶室、実演は3階ロビーにて開催

※茶話会は別途、チケット(600円)が必要(縮景園入園料を含む)

※各当日10:30から3階グッズコーナーにて販売(先着12名)

press release

講演会「超絶技巧の遺伝子 ― 明治工芸から現代へ」（共催：広島県立美術館友の会）

日時：3月3日（土）13:30～15:00（開場13:00）

講師：山下裕二（明治学院大学教授）

会場：地階講堂

※聴講無料、申込不要、定員200名（先着順）

子供ワークショップ「ギャラリートークに挑戦しよう！」

前半では学芸員から作品の見どころや説明の仕方・話し方を学び、後半では子供たちが保護者や一般来場者を前に展示室でのギャラリートーク（作品解説）を行います。学芸員のタマゴ、この指とまれ！

日時：2月24日（土）13:00～16:00（受付開始12:45）

子供ギャラリートークは15:00～16:00

講師：福田浩子（当館学芸課長）、神内有理（当館学芸員）

会場：地階講堂・3階企画展示室

参加料：児童無料、保護者は入場券が必要

募集人数：10組（小学生以上の児童および保護者）

※要事前申込（当館082-221-6246） ※子供ギャラリートーク聴講は申込不要、要入館券

学芸員等によるギャラリートーク

日時	講師（内容）
2月24日（土）11:00～	当館学芸員
15:00～	ワークショップ参加の子供たち
2月25日（日）11:00～	高月國光（日本工芸会正会員／木工）
3月3日（土）11:00～	当館学芸員
3月4日（日）11:00～	栗根仁志（日本工芸会正会員／七宝）
3月10日（土）11:00～	今田拓志（日本工芸会正会員／陶芸）
3月11日（日）11:00～	金城一国齋（日本工芸会正会員／漆芸）

会場：3階企画展示室

※所要時間：約40分 ※申込不要、要入館券 ※会場入口にお越してください。

ウェブレポーター大募集

日時：2月23日（金）17:00～18:30

受付場所：3階ロビー

実施場所：3階企画展示室内

対象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどのSNSにて情報発信をされている一般の方

※申込不要 ※実施当日に限って本展にご招待します。

press release



謎解きワークショップ

広島県立美術館で開催されている「第64回 日本伝統工芸展」の展示室に届いた「怪盗64世」からの犯行予告を、伝統工芸に対する知識と想像力で読み解くワークショップ。関連冊子配布(無料)。

日 時：2月23日(金)10:30～／2月24日(土)16:00～／3月4日(日)10:00～

講 師：当館学芸員

スペシャルゲスト：怪盗64世

会 場：3階企画展示室

※申込不要、要入館券

[犯行予告の一例]



【縮景園連携】

ワンコイン縮景園 本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。

【開催概要】

メインタイトル：第64回 日本伝統工芸展

英語名：The 64th Japan Traditional Kōgei -Art Crafts- Exhibition

料金：一般 700(500)円 高・大学生400(200)円 ※中学生以下無料

※()内は前売り・20名以上の団体料金

※学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。

前売券販売所：前売券は広島県立美術館、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画材店・画廊、ゆめタウン広島などで販売しています。

開催クレジット

主催：広島県立美術館／NHK広島放送局／朝日新聞社／(公社)日本工芸会

助成：平成29年度文化庁補助事業

協賛：マツダ／ヒロタニ／ヒロテック

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail m-kaminishis4677@pref.hiroshima.lg.jp (上西宛)または、

iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 神内 有理

広報担当：総務課 上西 真由美 一色 直香